

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	自動車整備		
科 目 名	故障原因探求		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	二級自動車整備科二輪自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	2年後期	金曜日	4・5・6時限
時 限 数	36時限（中間及び期末試験を除く）		
担当教員名	松原 吉彦		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となる故障探求の知識についての講義を実施する。		
授業の目的	故障探求を行う上で必要となる知識・技術、及びその方法について習得する。		
テキスト	①二級二輪自動車(日本自動車整備振興会連合会 発行) ②自動車の故障と探求(全国自動車大学校・整備専門学校協会 発行)		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト範囲
第1回	故障探求の基本と手順	故障探求の基本的な流れと事前の注意点について	②P5～8
第2回	ガソリンエンジンの故障原因と探求	ガソリンエンジンの基本点検	②P9～12
第3回	始動困難 アイドリング不調	現象別の故障原因探求の進め方	②P16～19 ②P19～21
第4回	エンスト 息つき	現象別の故障原因探求の進め方	②P61～63 ②P67
第5回	出力不足	現象別の故障原因探求の進め方	②P21～24
第6回	バックファイア アフタファイア	現象別の故障原因探求の進め方	②P25～27
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	ノッキング オーバーヒート	現象別の故障原因探求の進め方	②P26 ②P29～31
第8回	オイル消費、燃料消費、異音	現象別の故障原因探求の進め方	②P31～35 ②P27～29
第9回	潤滑系統、燃料系統、冷却系統	系統別の推定原因と着目点	①P155～162
第10回	始動系統、充電系統、点火系統	系統別の推定原因と着目点	①P155～162
第11回	クラッチ、トランスミッション	系統別の推定原因と着目点	①P162～170

第 12 回	電子制御式燃料噴射装置	電子制御式燃料噴射装置特有の点検項目とその方法	②P37～52
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する筆記試験	
到達目標	故障探求を行う上で必要となる知識・技術、及びその方法の習得。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時間に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点＝可、70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点＝可とする。</p>		
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。		